

事例 2 : 大学生事例 (杉並あきこさん)

別記様式 6-1

新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事 (保健所設置市長・特別区長) 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項 (同条第 8 項において準用する場合を含む。) の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 X 年 X 月 X 日

医師の氏名 厚生 良子  
 従事する病院・診療所の名称 PCR 検査センター  
 上記病院・診療所の所在地 (※) 東京都千代田区霞が関 1-2-2  
 電話番号 (※) ( 012 ) 345 - 6789

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断 (検査) した者 (死体) の類型					
・患者 (確定例) ・無症状病原体保有者 ・疑似症患者 (*) ・感染症死亡者の死体 ・感染症死亡疑い者の死体 (*) 疑似症患者について、当該者が入院を要しないと認められる場合は、本発生届の提出は不要。					
2 当該者氏名 (フリガナ)	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢 (0 歳は月齢)	6 当該者職業	
杉並あきこ (スギナミアキコ)	男・女	年 月 日	19 歳 ( 月 )	大学生	
7 当該者住所 東京都千代田区霞が関 9999			電話 ( 090 ) 7654 - 3210		
8 当該者所在地 住所と同じ			電話 ( ) -		
9 保護者氏名		10 保護者住所 (9、10 は患者が未成年の場合のみ記入)			
杉並 よしお		患者と同じ 電話 ( 090 ) 1234 - 5678			

11 症状	・発熱 ・肺炎様 ・多臓器不全 ・下痢 ・酸素飽和度 (室内気): % ・その他 ( ) ・症状なし	18 感染原因・感染経路・感染地域 ① 感染原因・感染経路 ( 確定・確定 ) 1 飛沫・飛沫核感染 (感染源の種類・状況: ) 2 接触感染 (接触した人・物の種類・状況: ) 3 その他 ( ) ② 感染地域 ( 確定・確定 ) 1 日本国内 ( 都道府県 市区町村 ) 2 国外 ( 国 詳細地域 ) ※複数の国又は地域該当する場合は全て記載すること。 渡航期間 (出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可) ③ 新型コロナウイルスワクチン接種歴 1 回目 有 ( 歳 ) ・ 不明 ワクチンの種類 / 製造会社 ( / ・不明 ) 接種年月日 ( R 年 月 日 ・不明 ) 2 回目 有 ( 歳 ) ・ 不明 ワクチンの種類 / 製造会社 ( / ・不明 ) 接種年月日 ( R 年 月 日 ・不明 ) 19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
	12 診断方法 ・分離・同定による病原体の検出 検体: 喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 ( ) 検体採取日 ( 月 日 ) 結果 ( 陽性・陰性 ) ・検体から核酸増幅法 (PCR 法 LAMP 法など) による病原体遺伝子の検出 検体: 喀痰、気管吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他 ( ) 検体採取日 ( X 月 X-2 日 ) 結果 ( 陽性・陰性 ) ・抗原定性検査による病原体の抗原の検出 検体: 鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液 検体採取日 ( 月 日 ) 結果 ( 陽性・陰性 ) ・抗原定量検査による病原体の抗原の検出 検体: 鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日 ( 月 日 ) 結果 ( 陽性・陰性 )	
13 初診年月日	令和 X 年 X 月 X-2 日	
14 診断 (検査) (※) 年月日	令和 X 年 X 月 X 日	
15 感染したと推定される年月日	令和 年 月 日	
16 発病年月日 (*)	令和 X 年 X 月 X-3 日	
17 死亡年月日 (※)	令和 年 月 日	

この届出は診断後直ちに行ってください

(1、3、11、12、18 欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。  
 (※) 欄は、死亡者を検査した場合のみ記入すること。(\*) 欄は、患者 (確定例) を診断した場合のみ記入すること。11、12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

## 1. 基本情報

### 1) 基礎情報

氏名：杉並あきこ（すぎなみあきこ）、年齢：19 歳、性別：女性、国籍：日本

住所：千代田区霞が関 9999、接触確認アプリ（COCOA）の利用：なし

療養状況：自宅で療養中

### 2) 所属情報

- 千代田区にある千代田大学の看護学部に通う大学 2 年生。授業時間は、1 限目（9：00-10：30）、2 限目（10：40-12：10）、3 限目（13：00-14：30）、4 限目（14：40-16：10）。講義の際は、最大 150 人収容できる講義室に 70 人程度が前を向いて着席して受講する。両隣には座らないようにし、前後も、互い違いになるように座っている。講義室は常に対面の窓を 5 か所以上あけており、サーキュレーターも回している。講義室の入り口には消毒液があり、学生はそこで手指消毒をしてから入るようにしている。グループ演習の部屋も、換気・消毒の体制は同様である。

### 3) 既往歴・現病歴

- 既往歴なし
- 妊娠なし
- 喫煙なし

### 4) 家族構成・家屋状況

- 同居家族  
父（杉並よしお：53 歳会社員、X-1 日から会社を休んでいる、症状なし、糖尿病の既往歴あり）  
母（杉並なおこ：52 歳会社員、X-1 日から会社を休んでいる、症状なし、既往無）
- 別居家族  
父方祖父母（青森県在住：新型コロナウイルス感染症流行以降会っていない）
- 家屋状況  
2LDK のマンションに在住（自分の部屋あり）

## 2. 症状及び対応の経過（ロールプレイ当日を X 日とする）

日付	症状	行動歴
X-18 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業がなかったため、自宅で過ごしていた。外出は、近所のスーパーにマスクをして買い物に行った程度である（滞在時間 15 分程度）</li> </ul>
X-17 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属しているバレーボールのサークルの練習日。10 時～12 時で、バレーコートが 1 面とれるくらいの小さな体育館で 20 人で練習している。そのため、お互いの距離は常に 2 m 以上をとることは難しかった。体育館は、常に換気をしていたが、練習中はマスクをつけずに活動していた。他に 10 人くらいはマスクをつけずに活動していた。息があがることも多かった。飲料の回し飲みやタオルの使いまわしはしないようにしていた。体調不良者はいなかった。練習前に全員の体調確認などはしていなかった</li> </ul>
X-16 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ大学の友人と午後 14 時頃カフェに行った。一つのテーブルに対面に座り、飲み物を飲んだり、ケーキを食べたりしている間はマスクを外し、話をしていた（30 分程度）。飲食が終わってからは、1 時間ほどマスクをつけて話をしていた。体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-15 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校（マスク着用）。1～3 限目までであったが、全て講義のため、席に座って話をしたりすることなく静かに授業を受けていた。昼は同じ看護学部の友人 3 人と大学の食堂でご飯を食べた。席は 1 テーブルで 4 人座りの四角いテーブル（1.5 m×1.5 m）に座っていたが、1 人ずつアクリル板で区切られていた。ただ、食事中（30 分程度）に話をするということもあった。講義出席者、昼食を共にしたものに体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-14 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校（マスク着用）。講義が 1～2 限目までであったため、昼は家に帰ってきてから食べた。午後は自宅で過ごしていた。講義出席者に体調不良者はいなかった</li> </ul>

## (続き)

日付	症状	行動歴
X-13 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温 36.5℃ (グループ演習のため測定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校。1～4 限目までであった。1～2 限目は講義だったが、3～4 限目は、グループでの演習だった。講義は、席に座って話をしたりすることなく静かに授業を受けていた。グループでの演習は、縦 1 m×横 2 mほどの机の上に模造紙をひいて、付箋をはったりする作業を続けていた。グループは自分を含めて 5 人だった。昼は同じ看護学部の友人 3 人と大学の食堂でご飯を食べた。席は 1 席で 4 人座りの四角いテーブルだが、1 人ずつアクリル板で区切られていた。ただ、食事中 (30 分程度) に話をすることもあった。講義出席者、演習出席者、昼食を共にしたものに体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-12 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校 (マスク着用)。講義が 1～2 限目までであったため、昼は家に帰ってきてから食べた。午後は自宅で過ごしていた。講義出席者に体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-11 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業がなかったが、課題をするために図書館に行っていた。一人で課題に取り組んでいたため、話をしたりした人はいない</li> </ul>
X-10 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属しているバレーボールのサークルの練習日。10 時～12 時で、バレーコートが 1 面とれるくらいの小さな体育館で 20 人で練習している。そのため、お互いの距離は常に 2 m 以上をとることは難しかった。体育館は、常に換気をしていたが、練習中はマスクをつけずに活動していた。他に 10 人くらいはマスクをつけずに活動していた。息があがることも多かった。飲料の回し飲みやタオルの使いまわしはしないようにしていた。ペアと一緒に練習をしていた友人 (渋谷ともこ) はマスクをつけずに咳をしていたが、喘息の既往があると言っていたため、気にしていなかった。練習前に全員の体調確認などはしていなかった</li> </ul>
X-9 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じサークルの友人 4 人と午前中に公園でバレーをした。そのまま、近くの定食屋に食事をしにいった。定食屋では、1.5 m×1.5 m のテーブルに 4 人で座り、食事中 (30 分ほど) はマスクを外していた。昼食を共にしたものに体調不良者はいなかった。昼食後は、自宅に帰った</li> </ul>

(続き)

日付	症状	行動歴
X-8 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校。1～3限目までであったが、全て講義のため、席に座って話をしたりすることなく静かに授業を受けていた。昼は同じ看護学部の友人3人と大学の食堂でご飯を食べた。席は1席で4人座りの四角いテーブルだが、1人ずつアクリル板で区切られていた。ただ、食事中に話をすることもあった。体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-7 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校（マスク着用）。講義が1～2限目までであったため、昼は家に帰ってきてから食べた。午後は自宅で過ごしていた。講義出席者に体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-6 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校。3～4限目が休講であったため、1～2限の講義を受けたあと、同じサークルの友人2人（稲毛ゆうこ、船橋さちこ）と駅前でランチをした。12時～13時の間に直径1mの丸テーブルに座って食事をした。食事中（45分程度）はマスクを外して話をしていた。ほかのテーブルとの間は、2m以上離れており、店は窓をあけるなどして換気をしていた。対応したスタッフはマスクを着用していた。講義出席者、昼食を共にしたものに体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-5 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無</li> <li>体温計測無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業があったため、登校（マスク着用）。講義が1～2限目までであったため、昼は家に帰ってきてから食べた。午後は自宅で過ごしていた。講義出席者に体調不良者はいなかった</li> </ul>
X-4 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正午ごろより、咽頭痛を感じはじめ、その日の20時頃、38.5℃の発熱を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学の授業がなかったため、自宅で過ごしていた</li> <li>体調不良があったため、いつもより早めに就寝</li> </ul>

(続き)

日付	症状	行動歴
X-3 日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝起きて検温したところ (7 時時点)、38.0℃の熱が続いている。今朝から、咳も出始めた</li> <li>医療機関受診時は 38.2℃</li> <li>夜間、熱っぽくて眠りにくかったため、処方された解熱鎮痛剤を飲んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9時過ぎに自治体の帰国者・接触者相談センターに電話をした。</li> <li>帰国者・接触者相談センターで、かかりつけ医への受診を勧められ、その日のうちに、かかりつけ医を受診した。</li> <li>かかりつけ医では、新型コロナウイルス感染症の疑いありと診断され、PCR検査センターで、X-2 日の 9 時に検査を受けるよう伝えられた。医療機関では、高熱で眠れない場合、もしくは、咽頭痛のために食事や水分が接種できない場合に、服用するようにと、解熱鎮痛剤が頓服で 6 回分処方された。</li> </ul>
X-2 日 (日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査受診時点では、37.8℃の発熱あり、咽頭痛、咳も続いている。睡眠・食事・水分はとれていたため、解熱鎮痛剤は服用していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13時にPCR検査センターで検査を受けた。</li> <li>大学の学年担任(新宿やすこ)にPCR検査を受けたことを報告した。担任からは検査結果がわかり次第報告するようにと伝えられた</li> </ul>
X-1 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱は 36.8℃。咽頭痛はやや軽快。睡眠・食事・水分はとれていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅安静</li> </ul>
X 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>体温 36.5℃、咽頭痛は消失、食事・水分は問題なくとれている。しかし、味覚・嗅覚障害が X-1 日より出現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医に「新型コロナウイルス感染症陽性」である連絡が入り、かかりつけ医から、患者本人にその旨が伝えられた。</li> <li>大学の学年担任(新宿やすこ)に、検査結果を報告した。大学からは、同じ学年の授業を臨時休講にしたと聞いた</li> </ul>

### 3. 登場人物について

#### ○渋谷ともこ

- 19 歳、同じ大学の医学部の学生、実家（世田谷区）から通学している
- X-10 日（土）以降は、会っていないため、その後の症状などはわからない

#### ○稲毛ゆうこ

- 19 歳、同じ大学の看護学部と同級生、実家（千葉県市川市）から通学している
- X-3 日に PCR 検査を受けたことを伝えた。今のところ体調不良はないと聞いている。先ほど、陽性であったことを伝えている

#### ○船橋さちこ

- 19 歳、同じ大学の看護学部と同級生、1 人暮らし（江戸川区）
- X-3 日に PCR 検査を受けたことを伝えた。今のところ体調不良はないと聞いている。先ほど、陽性であったことを伝えている

### 4. 患者役を演じる上でお願いしたいこと

- 今回の事例は、調査役に自分の情報を話すことをためらっている事例として演じてください。例えば、看護学部の学生なので、大学の名前や学部を聞かれたときに「答えなければいけませんか？」など、話したくない様子を出してみてください。調査役から納得できる回答が得られれば、事例の情報の通り回答してもらって構いません。

### 5. ロールプレイでのポイント

#### ➤ 導入

今回の患者は、当初は調査で自分のことを話すことをためらうという設定で演じてもらっていました。調査者と患者の信頼関係を築くことが大事になります。調査の目的を共有できるようにしましょう。信頼関係を構築する上では、導入の時点で、個人情報保護を徹底することを伝えておくことも必要です。もちろん調査で得た情報は、たとえば家族等であっても、保健所職員以外に話すことは禁止です。

（（例）「〇〇さん自身の情報は、調査で伺った他の方々の情報は外部には一切漏れないようにしますし、調査で伺った他の方々に〇〇さんの許可なく連絡することはありませんので、ご安心ください。」）

#### ➤ 発症日の特定

今回の事例では、発症日を X-4 日として設定しています。発症日が濃厚接触者の特定や、療養期間の決定などの基準となりますので、患者から聞き取る際には、想定される症状をこちらから具体的に伝えた上で、それらの症状がなかったのかも確認するとよいです。

#### ➤ 濃厚接触者の特定

今回の事例では、濃厚接触者は稲毛ゆうこさんと船橋さちこさん、そして両親として設定しています。

今回のように患者の所属が学校である場合には、学校での 1 日の流れ、昼食の状況、部活動・サークルの所属の有無、授業や部活動・サークルで過ごしている場所の広さ・一緒に過ごす人の人数・換気状況・

マスクの着用状況、学校での体調不良者の有無、学校で行動を共にすることが多かった人の有無などを確認する必要があります。濃厚接触者の特定で判断に迷う場合は、その都度、保健所職員に相談することが必要です。濃厚接触者のうち、特に稲毛さん、船橋さんが陽性となれば、看護学部内での感染拡大の危険性も高くなります。

➤ **クラスターの探知**

今回の事例では、X-10 日に会った渋谷ともこさんからの感染を設定して作成しました。渋谷ともこさんの所属する学部でも、感染が広がっている可能性が考えられます。そのため、感染源と思われる場にいた人の情報収集しておくことで、その後の調査に役立つ可能性があります。

➤ **保健指導・終了**

今回の事例の父（杉並よしお）は、糖尿病の既往歴があります。家庭内感染を防ぐためには、個室で過ごす、共用物品を消毒するなどの対応が必要ですが、主に本人をケアする人（配膳・下膳、ゴミの処理、洗濯など）は、既往歴がない人にしてもらうなどの工夫も必要です。また、最後に患者本人が今不安に思っていることや気になることを確認することや、今後相談したいことがあったり、体調が悪くなったりした際の連絡先を伝えておくことも必要です。